

# すやよち 1月5日(水)

曇り

加藤 恵美子



今日は天気が良く、暖かったので外に出て雪遊びをしました。外に出ると早速雪の上をあっちこっち歩いて探索しながら雪の感触を楽しむ子、手袋をはずして雪を触ってみる子等々…。にいなちゃんは歩道に積んであった雪の塊を見つけると「おいで～」と声をかけていました。(この時期ならではの感性ににっこり…)途中で保育者がバケツに雪を入れてひっくり返して見せると「うぁー」と喜ぶ子ども達。「ケーキだね」「おっきいね」等と会話がはずみました。そしてろうそくにみたて保育者が枝を二本さすと嬉しい顔を見せ、みんなで“たんじょうびのうた”を歌ったりしました。その後、今度は子ども達だけでバケツ雪を入れ、いっぱいになるとあけ、繰り返しケーキ作りを楽しむ姿がみられました。保育者や友だちの遊びの様子をみて、まねっこをし楽しめるようになってきたなあと成長を感じた場面でした。すやさんのゆのんちゃんも側で遊んでいるお友だちの様子を観察したり、雪に触れたりしながら少しの間楽しみました。

## 保育者の配慮

- 子どもの健康状態や様子を見ながら、室内遊び、外遊びに分かれて無理なく過ごせるようにした。
- 雪遊びをする前に子ども達が危険なく遊びやすいように除雪したり、子ども達が楽しめるようにごっこ遊びの環境をつくったりした。